

在宅療養支援に関する令和4・5年度の取組と実績

資料2

目指す方向	事業名等	事業の概要	令和4年度 実績及び評価等	令和5年度(令和6年3月末)現在
			実績等	実績
1 在宅療養 体制の充実	①在宅医療体制の推進	ICTを活用し複数主治医制を推進するとともに、医療機関が入退院時等の連携をスムーズに行い、切れ目のない在宅医療を提供できる体制を強化する。また、在宅医療と介護の連携を促進する。	・在宅医療検討会:令和4年9月29日～令和5年2月22日で開催 ・ICTを活用した連携推進への補助 参加機関:123か所 参加者:264名 利用患者数:195名	○在宅医療検討会:令和5年7月13日、10月12日、12月8日 オンライン開催 参加人数:11名 ○新宿区医療連携システム(新宿きんと雲)を活用した多職種連携の推進 参加機関:127か所 参加者:271名 利用患者数:199名
	②かかりつけ医機能の推進	身近な地域で適切な医療が受けられるよう、課題に応じた会議や研修会等を開催し、かかりつけ医の機能強化を図る。また、医療・介護の連携を進める。	・委員会:6回/年 6/3、7/27、10/7、11/14、1/6、3/6 ・連携会議(委員会と同時開催を含む):6回/年 ・研修会:2回/年 5/6、9/2 ・課題別連絡会議:2回/年 7/20、3/10 ※新型コロナウイルス対策医療・介護福祉ネットワーク: 4/8、5/6、6/3、7/1、7/20、8/5、9/2、10/7、11/4、12/2、1/6、2/3、3/10 ・在宅医療協力医名簿配布 108部	○在宅ケア・介護保険委員会:4回開催(5/11、9/21、12/25、3/1) ○連携会議(委員会と同時開催を含む):4回開催 ○課題別連絡会議:2回開催(4/7、5/12) ○研修会:1回開催(10/6) ※新宿区新型コロナウイルス対策医療介護福祉ネットワーク:4/7、5/12 ※新宿区保健医療介護福祉ネットワーク会議:10/6
	③かかりつけ歯科医機能の推進	身近な地域で適切な歯科医療を受けられるよう、かかりつけ歯科医の紹介や会議等を開催し、かかりつけ歯科医の機能強化を図る。また、医療機関の連携を強化し、安全・安心な歯科医療を提供できる体制づくりを進める。	○ネットワーク連絡会:1回/年 3/3 ○実務担当者会:6回/年 5/20、7/20、9/2、11/18、1/30、3/22	○ネットワーク連絡会:2回開催(10/25、3/29) ○実務担当者会:6回開催(5/24、7/5、9/27、11/13、1/17、3/13)
	④在宅歯科医療の推進	要介護状態などで歯科受診ができない高齢者等が在宅で適切な歯科医療を受けられるよう、「在宅歯科相談窓口」で相談に応じ、必要に応じて歯科医師等を紹介する。また、在宅歯科診療医の機能強化を図るとともに、多職種との連携を推進する。	○在宅歯科相談窓口の運営 ○連携会議:2回/年(新宿区歯科医師会・新宿区四谷牛込歯科医師会合同開催12/13) ○研修会:1回 令和4年12月13日(火) 18名参加 コロナ禍における在宅診療 症例報告	○在宅歯科相談窓口の運営(⑬在宅歯科相談窓口覧参照) ○連携会議:2回/年(新宿区歯科医師会・新宿区四谷牛込歯科医師会合同開催12/21) ○研修会:1回 令和6年1月31日(水) 43名参加 ・在宅医療における新型コロナウイルス感染症の4年を振り返る ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の中で発見された口腔がんの一例 ・最近経験した症例から 聖母病院摂食嚥下支援チームのご紹介(症例報告)
	⑤薬剤師の在宅医療への連携強化	区民の在宅療養を推進するため、連携会議や研修会を通して、薬剤師の在宅療養での役割を区民及び関係機関に周知し、在宅医療連携の強化を図る。	○連携会議:2回/年 第1回:令和4年7月12日(火)Zoom会議 6名参加 第2回:令和4年11月17日(水)Zoom会議 10名参加 コロナ関連 ○研修会:2回済(参加者43人) 第1回:令和4年8月2日(火) 12名参加 「患者さんに寄り添っていける薬局に」 講師 土方薬局 荒井隆治様 オンライン(ZOOM)開催 第2回:令和5年3月24日(金) 31名参加 「在宅訪問薬剤師による症例検討」 オンライン(ZOOM)開催	○連携会議:2回/年 第1回:令和5年5月8日(月)オンライン(ZOOM)会議 12名参加(理事5名を含む) 第2回:令和6年3月19日(火)オンライン(ZOOM)会議 8名参加 ○研修会開催:2回/年 第1回:令和6年2月29日(木)オンライン(ZOOM) 18名参加 講師:土方薬局 荒井隆治先生 「在宅医療(初級):在宅依頼が急に来てもこれで大丈夫! 症例検討もあります～」 第2回:令和6年3月25日(月)オンライン(ZOOM) 16名参加 講師:龍生堂薬局大久保店 寺田大輝先生 「在宅医療(中級):症例検討会～外来から在宅医療に切り替わった認知症患者症例 etc～」
	⑥緊急一時入院病床の確保	在宅療養をしている区民等の病状が急変し、かかりつけ医が入院を必要と診断した場合に、緊急に入院できるように、区内の病院に緊急一時入院用のベッドを確保する。	○利用実績 ・延べ利用者数 59名 稼働率 62.6% (内訳)JCHO東京新宿メディカルセンター:9名 JCHO東京山手メディカルセンター:28名 東京都立大久保病院:22名	○利用状況 ・延べ利用状況:88人 稼働率:95.5% ○利用状況内訳 JCHO東京新宿メディカルセンター :7名 JCHO東京山手メディカルセンター :44名 東京都立大久保病院 :37名
	⑦訪問看護ステーション連携促進	区内の訪問看護ステーションが連絡会や合同研修会を開催し、訪問看護ステーション間の連携・協体制を強化するとともに、スキルアップを図る。	○連絡会:6回/年開催予定 (5/12、7/14、9/8、11/10、1/12、3/9) ・オンライン(ZOOM)で開催 ○研修会:3/23(参加者34人・16事業所) ・「災害発生時の訪問看護業務の協体制～新宿モデルの構築に向けて～」 ハイブリッドで(若松地域センター)開催。	○連絡会開催状況:6回 ・オンライン開催:5回(5/11、7/13、9/14、1/11、3/14) ・会場開催:1回(11/9:四谷保健センター複合施設) ○研修会:2/28(水)参加者32人・12事業所「職場外(利用者や多職種)と職場内(上司・部下・同僚等)に対するコミュニケーションスキルを磨く～アサーティブなコミュニケーションについて～」新宿区役所第二分庁舎分館3階会議室 ○地域BCPについて検討:区内ステーション5ヶ所及び看多機1ヶ所プロジェクトチームを結成 ・8回開催(5/11、6/8、7/13、8/10、9/7、10/12、11/9、12/14、3/14) ・訪問看護ステーションBCP訓練(災害状況入力訓練)実施:11/20、21
2 医療と介護 の連携の強化	⑧在宅医療と介護の交流会	在宅医療と介護の相互理解や連携づくりを推進するために、地域の病院、診療所、歯科診療所、薬局などの医療機関、高齢者総合相談センター、介護サービス事業者などの介護関係機関が交流する研修会を開催する。	○交流会実績:参加者157人(オンライン参加数:125件) ・令和4年9月21日(水) ・福祉部の「新宿区介護サービス事業者協議会研修会」と共同開催(ZOOM) ・テーマ:「医療と介護の連携を問う～コロナ禍の中で本当に役立ったこと、困ったこと～」	○交流会実績:新宿区介護サービス事業者協議会研修会と共催 ・開催日時:9/29(金) 19時～21時 ・会場: Biz新宿 ・参加人数:75人 ※感染対策の為募集人数を調整 ・テーマ:一人ひとりを地域で支えるために出来ること～お互いさまで支え合う地域を目指すには～ <まとめ> ・申し込みは121人あり、交流会への関心度は高かった。 ・アンケートから、講話や顔の見える意見交換が良かったと多数回答あり。さらに、対面開催のような顔の見える関係性が地域連携に繋がるとの意見も多かった。
	⑨在宅医療・介護資源リスト(マップ)の作成と連携促進	「在宅医療・介護支援情報」の活用により、必要な情報の提供と在宅医療と介護のスムーズな連携を推進する。 ○WEB版:新宿区医療・介護・通いの場情報検索サイト「さがせる新宿」令和4年3月25日から、在宅医療・介護資源リスト(マップ)をこのサイトに掲載する。そのため、支援機関用リスト(マップ)は令和3年度で作成を終了した。 ※区民用資源リスト(マップ)は⑪「在宅療養に関する理解促進」の項を参照。	○在宅医療・介護資源リスト(マップ)配布実績:<令和3年度版:令和4年3月発行分> ・支援機関用:999冊 ・区民用:2979冊 ・令和4年度版(掲載事業所739ヶ所):令和5年3月発行の為、令和5年度に配布予定 ○「さがせる新宿」について ・関係者専用サイト登録率:病院41%、診療所59%、歯科診療所55%、薬局63%、訪問看護ステーション80%(掲載事業所のみ) ・関係者専用サイトログインID・パスワードを、区内医療機関へ発行:計1158件	○在宅医療・介護資源リスト(マップ)配布実績:<令和4年度版:令和5年3月発行分> ・3,000部作成、2996冊配布 ・令和5年度版(4,000部発行、掲載事業所749ヶ所):令和6年3月発行のため、令和6年度に配布予定 ○「さがせる新宿」について ・関係者専用サイト登録率(掲載機関のみ):病院50%、診療所67%、歯科診療所66%、薬局69%、訪問看護ステーション84% ・お知らせ掲載数:一般向け11件、関係機関向け29件 ・健康部職員対象操作研修の実施:全5か所で開催し、46人が参加
	⑩摂食嚥下機能の支援推進	摂食嚥下機能の支援ツールの紹介等の周知を行う。また、区オリジナル体操・トレーニングの一つとして新宿ごっくん体操を普及していくとともに、広く普及するための新たな仕組みを構築していく。	○普及啓発活動:(実施12回:参加者233人) ・摂食嚥下に関する研修会・ふれあいトーク等:3回実施(新宿いきいきサポーター研修、牛込筆筒高齢者給食サービス、角管地区協議会) 89名 ・ごっくん体操の紹介:在宅療養地域学習会等で9回 144名 ○広報等による普及 ・新宿区オリジナル3つの体操・トレーニングとして、7/15号広報新宿に掲載 ・ごっくん体操(単独)9/1号ぬくもりだよりに掲載 ・「色とりどりの道～新宿ごっくん体操のうた～」CD増産300枚 ・「楽しく歌って、動かして、食べる幸せいつまでも」体操解説リーフレット増刷:10,000枚	○普及啓発活動参加者総数:(実施18回:476人) <内訳> ①「ごっくん体操」の普及啓発:134人/10回 ・ふれあいトーク宅配便:40人/2回(7/13富久クロス:26人・11/10西早稲田地域交流館:14人) ・その他の講座に合わせ実施:94人/8回 ②3つの体操・トレーニングによる普及啓発:342人/8回 ・体験会等:74人/3回(体験会(2回):5/17は36人、1/16は29人、研修会(1回):7/5は9人) ・その他地域イベント等:268人/5回 ○その他:広報新宿、ぬくもりだより、区公式SNSによる普及を行う。
3 在宅療養相談 窓口の機能強化	⑪在宅医療相談窓口	区民が安心して在宅療養できるように、関係機関等からの医療を中心とした専門的な相談を受けアウトリーチ(援助が必要であるにもかかわらず、自発的に申し出がない人に対して、公共機関などが積極的に働きかけ支援の実現を目指すこと)による支援等を行うことにより、在宅療養に必要な医療、看護、リハビリテーション、摂食嚥下機能支援などのコーディネーターや情報提供を行う。	○医療相談数 ・実相談件数:203件 延相談件数:351件 ○窓口普及啓発 ・7/15号ぬくもりだより、「在宅医療相談窓口」「がん療養相談窓口」の案内に掲載	○医療相談数 ・実相談件数:166件 延相談件数:308件(内面接:35件、アウトリーチ訪問:2件) ○窓口普及啓発 ・リーフレット印刷:6月に3,000部印刷し、関係機関や学習会で464部配付 ・区ホームページをリニューアル窓口リーフレット等を掲載 ぬくもりだより(6/1号掲載)、広報(9/15日号掲載) ・関係機関や区民向け学習会やイベントで配布(学習会5回、ふれあいトーク2回)
	⑫がん療養相談窓口	区民からのがんの療養に関する相談を受け、必要な調整や緩和ケアおよびACP(アドバンス・ケア・プランニング)などの情報提供を行う。また、身近な地域にある相談窓口の利点などについて、区民や関係機関に対してさらに周知活用を促す。	○療養相談件数 ・実相談件数:47件 延相談件数:106件 ○窓口普及啓発 ・7/15号ぬくもりだより、「在宅医療相談窓口」「がん療養相談窓口」を掲載 ・9/25号広報新宿に、「緩和ケア」「がん療養相談窓口」等を掲載 ・6/15新宿区内がん相談支援センター(5病院)とがん療養相談窓口との意見交換会(ZOOM) ○区内病院「がん相談支援センター」との意見交換会:1回実施	○療養相談数 ・実相談件数:46件 延相談件数:104件(内来所相談62件) ○窓口普及啓発 ・窓口案内チラシ・案内カード等配布:チラシ等1,125部配布済 ・区ホームページをリニューアル、窓口リーフレット等を掲載 新たに(3つ折り)窓口リーフレットを(1,500部)作成し、病院等関係機関等に908部送付 ・広報(9/15号 緩和ケアと相談窓口)、ぬくもりだより(6/1号 相談窓口紹介) ○区内「がん相談支援センター」と「がん療養相談窓口」の意見交換会 ・第1回:7/21 参加関係機関7ヶ所 参加者22人 ・第2回:3/18 参加関係機関7ヶ所 参加者19人
	⑬在宅歯科相談窓口	④「在宅歯科医療の推進」の項を参照。	○歯科相談数 ・相談者数:18名 ・在宅歯科相談員対応数:44件 うち在宅歯科コーディネーター(歯科医師)対応数:13件	○歯科相談数 ・相談数26件(内、訪問対応:19件 コーディネーター対応:17件)

目指す方向	事業名等	事業の概要	令和4年度 実績及び評価等	令和5年度(令和6年3月末)現在	
			実績等	実績	
2 在宅療養に関する専門職のスキルアップ	(1)入院機関の機能強化	⑭病院職員の訪問看護ステーションでの実習研修	区内病院職員の在宅療養に対する理解を深め、病院と地域の関係機関との連携を強化するために医師、看護師、リハビリテーションに係る病院職員等を対象に、区内訪問看護ステーションでの実習を実施する。 ①看護師対象 10名 (各3日間) ②その他の職種 医師・MSW・リハビリ職等 3名 (各1日)	○病院職員実習研修実績 ・看護師 6名(国立国際医療研究センター病院:4名、慶應義塾大学病院:2名)※原則3日間 ・その他の職種 3名 ※1日間 《理学療法士:2名(JCHO東京山手メディカルセンター、東京女子医科大学病院)》 《ソーシャルワーカー:1名(慶應義塾大学病院)》	○研修状況 ・修了者:15人(看護師:11人、その他の職種4人) <内訳> ・看護師:東京医科大学病院1人、国立国際医療研究センター病院7人、都立大久保病院1人、慶應義塾大学病院1人、JCHO東京山手メディカルセンター1人 ・その他の職種:国立国際医療研究センター病院1人、医療ソーシャルワーカー、JCHO東京新宿メディカルセンター3人、理学療法士2人、作業療法士1人
	(2)在宅医療機関の機能強化		※②かかりつけ医機能の推進 ③かかりつけ歯科医機能推進 ④在宅歯科医療の推進 ⑤薬剤師の在宅医療への連携強化 ⑦訪問看護ステーション連携促進 ⑩摂食嚥下機能の支援推進等において研修会を行う。		
	(3)在宅療養支援関係機関の機能強化	⑮介護職員の看護小規模多機能型居宅介護での実習研修	在宅療養を支援する機関の機能強化のためヘルパーなど介護職員が、医療的視点をもってケアを行うことができるよう、看護小規模多機能型居宅介護事業所での体験研修を実施する。また、施設の機能についても普及啓発を行う。	○研修実績 ・2施設と契約(坂町ミモザの家、わいは) ・令和4年度応募なし	○研修実績:3人 ・申込:4人(介護士)(うち1名キャンセル) ・実習終了:2/13日(2人)、2月22日(1人) ○周知活動:各関係団体の開催する会議等に参加、チラシの配布(2回/年)、電話
	(4)多職種連携の強化	⑯多職種連携研修会	在宅療養を支援する機関の機能強化のため、地域の医療・介護関係職員が、実際の事例を通して多職種連携を学ぶ研修会を開催する。	○研修実績<12回/年開催(オンラインにて開催) 参加者:371名> ・第124回:4/28、第125回:5/24、第126回:6/28、第127回:7/26、第128回:8/23、 第129回:9/27、第130回:10/25、第131回:11/22、第132回:12/27、第133回:1/24、 第134回:2/28、第135回:3/28	○開催状況:オンラインで開催 ・開催実績:435人/12回 ・上半期:第136回:4/25(35人)、第137回:5/23(41人)、第138回:6/27(41人)、 第139回:7/25(23人)、第140回:8/22(34人)、第141回:9/26(36人)、 ・下半期:第142回:10/24(38人)、第143回:11/28(37人)、第144回:12/26(30人)、 第145回:1/30(39人)、第146回:2/27(29人)、第147回:3/26(52人)
3 在宅療養に対する理解の促進	(1)在宅療養についての理解を深めるための普及啓発	⑰在宅療養に関する理解促進	区民や関係機関が在宅での療養が可能であることを理解し、「在宅医療・介護支援情報」や「在宅療養ハンドブック」などを配布し、知識を普及する。また、地域において、高齢者や高齢者を支える幅広い世代への学習会や関係機関等への研修会を開催する。 ○地域学習会の実施 ○ふれあいトーク宅配便の活用	○在宅療養地域学習会:5回開催 参加合計31名 内訳:7/27西新宿シニア活動館(15名)、9/20高田馬場シニア活動館(5名)、11/22中町地域交流館(7名)、1/17百人町地域交流館(2名)、3/15山吹町地域交流館(2名) ○ふれあいトーク宅配便等依頼による学習会:3回 参加合計63名 内訳:9/1高齢福祉部会(民生委員19名)、10/19榎町民児協(民生委員及び児童委員28名)、11/15 龍生堂薬局(薬剤師16名) ○普及啓発:(区民問合せ:23件) ・9/25号広報新宿「緩和ケア」の記事で「在宅療養ハンドブック」を掲載 ・11/5号広報新宿に、「在宅療養ハンドブック」「人生会議」について掲載 ・11/15号ぬくもりだより、「在宅療養ハンドブック」「人生会議」等を掲載	○学習会等の実績:118人/9回 ①地域学習会:50人/5回 ・6/21:山吹町地域交流館(28人)、8/23:落合第2地域センター(11人)・10/18:柏木地域センター(2人)、10/25:四谷地域センター(1人)、11/10:若松地域センター(8人) ②ふれあいトーク宅配便:53人/3回 ・6/20:柏木地域センター(18人)、11/25:富久元気の会(24人)、12/6中落合地域交流館(11人) ③その他講演会等:15人/1回 ・10/30:環境衛生自治指導員に対して講演 ○普及啓発(広報・ホームページ、区公式SNSを活用):11回(区民から問い合わせ7件) ・在宅療養の相談窓口紹介、ACP(人生会議)等のハンドブックの紹介、緩和ケア等について ○学習会の周知 ・区ホームページ(年間予定として常時掲載中) ・各回広報掲載とSNS利用 チラシの作成関係機関に配布
			○「在宅医療・介護資源情報」の作成・配布 ※⑨「在宅医療・介護資源のリスト(マップ)の作成と連携促進」の項を参照。	※⑨「在宅医療・介護資源のリスト(マップ)の作成と連携促進」の項を参照。 ※支援機関用介護資源リストの作成は、令和4年度で終了し、在宅医療・介護・通いの検索サイト「さがせる新宿」に移行	※⑨「在宅医療・介護資源のリスト(マップ)の作成と連携促進」の項を参照。
			○「在宅療養ハンドブック」①、②の作成・配布 ①地域で安心して療養するために ②あなたらしく生きるための“人生会議”	○在宅療養ハンドブック配布状況 ①地域で安心して療養するために(令和3年11月発行分:配布期間R3.11～R5.3)・・・4922冊 ②あなたらしく生きるための“人生会議”:674冊/年(手渡し) ・(令和元年3月発行分:配布期間R4.4～R5.3):674冊 ・(令和5年3月発行分):配布は令和5年4月から	○在宅療養ハンドブック配布状況 ①地域で安心して療養するために:3416冊 ・(令和3年11月発行分:配布期間R5.4～R5.5)・・・37冊 ・(令和5年6月発行分:5,000冊)・・・3379冊 ②あなたらしく生きるための“人生会議”(令和5年3月5,000部発行分):3944冊(平置き)
	⑱在宅療養シンポジウム	区民や関係機関が在宅での療養が可能であることを理解し実感できるような、在宅療養に関するシンポジウムを開催する。 また、開催内容を検討し、高齢者を支える世代(40歳代～60歳代)の参加を促す。	○実績(参加者115人) ・開催日:令和4年11月30日(水)18:30～ ・開催方法:オンライン(ZOOM)開催 ・テーマ:「このまち新宿で穏やかに暮らし、安心して逝くために」 ～あなたの家族に突然介護が必要になったら?～ ・参加者:115名(区民、医療・介護・福祉関係者、医療保険福祉行政等)	○開催実績:参加総数87人 ・日時:11/30(木)18:30～ ・開催方法:オンライン及び一部会場視聴(戸山生涯学習館)/戸山図書館協力 ・参加者:オンライン参加:76人 会場参加者:11人 ○広報 ・図書館掲示:7ヶ所 在宅療養に関する展示(掲示期間概ね11月中) ・周知方法:広報(11/5号掲載予定)、現在区ホームページでも昨年度のチラシを掲載 区公式SNSへの掲載、関係機関へのチラシの配布予定	
	⑲がん患者・家族のための支援講座	がんの治療や療養生活等について学び、同じ健康不安や辛さを抱える人と関わり、語り合う講座を開催する。	○開催回数:(2回実施:参加者9人) ・第一回:令和4年7月23日(土)14:00～16:00 参加者:2人 暮らしの保健室にて開催 「がんと共に生きる仲間と語り合うカフェ がん療養を支える(支えた)ケアラーの集い」 ・第二回:令和5年1月19日(木)11:00～14:00 参加者7人 大久保地域センターにて開催 「作って食べよう!がん患者・家族のための料理教室 ～食べやすくて栄養が摂れる簡単料理～」 ・いずれも、すべての参加者が講座の内容について「良かった」または「まあまあ良かった」と回答	○開催状況:参加者(2回実施) ・第1回:7/22(土)「学んで体験 アピアランスケア」 参加者:5人 満足度:100%(参加アンケートから) ・第2回:1/18(木)「作って食べよう!がん患者・家族のための料理教室～食べやすくて栄養が摂れる簡単料理」 ミニ講座:災害時にも美味しく食べられる食事づくりのヒント 参加者:11人 満足度:100%(参加アンケートから) ・周知方法:区ホームページ・広報・区公式SNSへの掲載、関係機関(68ヶ所 350部)へのチラシ 配布終了後も区ホームページにチラシを掲載	
(2)在宅人工呼吸器使用者に対する災害時支援の強化	⑳災害関係事業実績参照				
会議	地域保健医療体制整備協議会	地域保健医療及び保健衛生並びに福祉施策との連携に関する課題を協議し、区の保健医療体制の充実に資することを目的に地域保健医療体制整備協議会(以下、「協議会」という。)を設置。	○開催実績 ・第1回 令和4年7月27日(水) 22名出席(内5名代理出席) ハイブリッド開催 ・第2回 中止 ※新型コロナウイルス感染症の影響のため	○開催状況(1回) ・第1回:6/16(金)「新型コロナウイルス感染症の動向と対応について」 ・第2回中止:令和6年開催予定	
	在宅療養専門部会	新宿区地域保健医療体制整備協議会設置要綱第7条の規定に基づき、在宅療養に関する事項について協議するため、専門部会を設置。	○開催実績 ・第1回 令和4年8月24日(水) 16名出席 オンライン開催 ・第2回 中止 ※新型コロナウイルス感染症の影響のため	○開催状況(1回) ・第1回:7/6(木)「在宅療養支援体制の充実について」 ・第2回:3/11(月)「在宅療養支援体制の充実(看護小規模多機能型居宅介護実習研修・地域学習会について)」	
	地域リハビリテーション連携検討会	医療・保健・福祉の関係機関、安泰からなる会議を設置し、地域リハビリテーションの体制及び各関係機関の役割について検討する。	○開催実績 ・令和4年12月2日(金) 9名出席 オンライン開催	○開催状況(2回) ・第1回:6/12(月)、第2回:7/19(水) 「新宿区における地域リハビリテーション(高齢者のフレイル予防)の取り組みについて」	